

2024年度 総合型選抜（9月募集）【課題型】

理工学部 表面工学コース

課題「なぜ、自動車に、めっき法の重要性が高まっているのか？」

1. 概要

自動車には、多くのめっき法が使用されています。腐食を防止する防錆めっき、耐摩耗性を付与するめっき、潤滑性を付与するめっき、絶縁性を付与するめっきなどが使用されています。近年、持続可能な社会を目指し、SDGs が注目を集めています。めっき法を使用することにより、機能を発揮する元素の使用を少なくすることができます。私たちの身近にも様々な話題が出ています。さらに、以前は金属をもちいていた部分に、樹脂に最初に無電解めっきをした後に、さらに種々の処理を行い、実用化されています。前面のラジエターグリル、エンブレム、ドアハンドルなどです。特に、乗車スペースの中で、金属色なのは樹脂にめっきを行ったものが、大半を占めています。金属を樹脂にめっきを行ったものを使用することにより、軽量化が可能になり、自動車の燃費向上が行われ、SDGs に寄与しています。

このように、めっきを使用することが、SDGs に寄与していることは明らかです。めっきを使用することが SDGs に寄与することを、例を示して説明してください。

あわせて1000字程度にまとめて記述した課題レポートを提出し、発表してください。

課題レポート指定書式のダウンロードはこちらから <[WORD ファイル](#)><[PDF ファイル](#)>

2. 諸注意

- ・ 課題レポートのオリジナルは手元に持ち、出願時にコピー1部を提出してください。
- ・ 課題レポートは、手書きでもワープロを使用しても結構です。
- ・ 発表は、パワーポイントなどは用いないで行ってください。
- ・ 発表時間10分、質疑応答15分が目安です。

3. 評価方法

発表内容から、興味のある分野とその興味の深さについて、判断させていただきます。プレゼンテーションの技術だけではなく、表面工学を学習することへの意欲や熱意も重視します。

以上